

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L101	シティライフ学入門	1年	講義	2	山島哲夫
授業概要 本講義では、都市そのものと都市で展開されている私たちの暮らしや様々な活動について、都市に生活する生活者の視点で取り上げる。都市の特徴を明らかにしたうえで、現代のシティライフの成立の経緯、シティライフの特徴、シティライフを支える仕組みなどを学び、快適なシティライフのあり方について学習する。					
到達目標(学習の成果) 都市で生活していくための基本的な素養を幅広く学ぶ。都市で生起する様々な課題をバラバラのものとしてではなく、都市全体として把握できるパースペクティブを身につける(DP2)。これからの都市での生活と活動をより快適なものとするためのしっかりした視点を学習する(DP3)。併せて、シティライフ学部で学ぶ専門的な科目の基本となる知識を習得する。(DP2)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	シティライフについて	シティライフ学で取り上げる「シティライフ」とは何か、シティライフの前提である「都市」の特徴は何かを学ぶ。			
2	シティライフの成立	高度成長期を通じた社会の様々な変化を確認し、現在のシティライフを成立させた背景を学ぶ。			
3	都市における活動(1)	都市に生活する生活者の活動の特徴を世帯の構造、生活時間、生活者のニーズ等を通じて学ぶ。			
4	都市における活動(2)	都市生活者の暮らしとライフスタイルの特徴を学ぶ。都市的な暮らしの代表として繁華街の変遷についても学ぶ。			
5	都市における活動(3)	都市生活を支える産業について考える。都市型産業といわれるものが都市に集中する理由、私たちの暮らしと産業(都市型産業、商業、農業)などのかかわりなどについて学ぶ。			
6	都市における活動(4)	都市で展開される芸術文化活動やファッション、観光などについて学ぶ。			
7	シティライフを支える基盤(1)	社会的共通資本という考え方について学ぶとともに、その一つである自然について都市との関係について学ぶ。			
8	シティライフを支える基盤(2)	都市生活を支える道路、公園緑地等の公共施設、公共交通機関、都市の情報基盤等のインフラ(社会資本)について、その役割を学ぶ。			
9	シティライフを支える基盤(3)	都市生活を成り立たせている仕組みのうち、制度に係るものを学ぶ。教育、医療、金融、警察、子育て制度、自治制度など様々な制度がシティライフを支えていることを理解する。			
10	シティライフを支える基盤(4)	シティライフを支える仕組みは社会的共通資本の他に、人と人との関係であるコミュニティがある。シティライフを支えるコミュニティ、地域包括ケア、ソーシャルキャピタルなどについて学ぶ。			
11	シティライフとアメニティ	アメニティとは何かを学び、居心地がよく快適なシティライフを実現するための考え方を理解する。			
12	シティライフ各論(1)	暮らしやすい都市に必要な要素は何かについて幅広く学ぶとともに、最も重要な災害や犯罪から安全安心のまちづくりについて何を考えるべきか学ぶ。			
13	シティライフ各論(2)	暮らしやすい都市は、過度にクルマに依存することのない都市である。歩いて暮らせるまちにするためにコンパクトなまちづくりについて学ぶ。			
14	シティライフ各論(3)	環境、景観、福祉など多様な観点から都市のあり方を考える。青少年が落ち着いていられる場所づくり、ユニバーサルデザインなどについても学ぶ。			
15	シティライフ各論(4)	暮らしやすい都市にするためには、それぞれの地域において様々な市民活動が行われる必要がある。市民活動の例としてコミュニティビジネスを取り上げ、その現状と意義について学ぶ。			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1.授業の前に、この講義用に作成した「講義用資料」を読んでから授業に臨むこと。なお、初回の講義の前にはシラバスをよく読んで、講義全体について把握しておくこと。
- 2.授業終了後、再度「講義用資料」を読むとともに、次の授業の前までに、各章末に掲載した<問題>に対する回答を作成すること。回答の作成に当たっては、「講義用資料」だけでなく図書館等の資料を利用してまとめること。

成績評価の方法・基準(%表記)

レポート提出及び授業時の課題の評価並びに授業への参画状況 20% 期末試験の成績 80%

観点	S	A	B	C
シティライフの現状についての理解 DP2	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
シティライフを支える基盤についての理解 DP2	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
シティライフを改善するための課題について DP3	課題を見出す力が身に付いている	課題を検討する力が身に付いている	課題について検討する姿勢ができてきている	課題があることを理解している

教科書

この講義のために作成した冊子「講義用資料」(約 100 ページ)を教科書として使用する。「講義用資料」は初回の授業の際に全員に配布する。

参考書等

授業の際に、必要に応じて参考図書等を紹介する。

履修上の注意・学修支援

- 1.本授業は出席を重視している。2/3以上出席しない場合は、試験の受験資格がなくなる。また、2/3以上出席したとしても、欠席や遅刻は回数により減点があるので、注意すること。
- 2.何かわからないことがあったら、早めに相談すること。なお、相談は、原則としてオフィスアワーの時間に受け付ける。